

☆今年度の地区ふれあい集会の内容を紹介☆

今年度は町内16か所でさまざまなテーマの地区ふれあい集会が開催されました

南部地区（4・5・6・7区） 「向町奏楽部のいまとこれから」

コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった古川祭。その祭りを支える地元組織「向町奏楽部」の取組について部長の重澤頼正さんより講演をいただきました。慢性的な部員数の減少を鑑み地域の子どもたちに奏楽部として参加してもらい、一緒に祭りを盛り上げる仕組みづくりを行っています。地域の子どもと大人が関わる機会を持つことが、子どもたちにとってよい刺激となること、また地域の一員としての自覚が生まれ、未来の地域づくりにつながることを地域の方に知っていただく機会となりました。参加した子どもたちも活動を通して楽しく過ごす様子が見られ伝統行事に対する想いが高まっていることを嬉しく感じます。地域住民の各行政区に対する思い入れは世代によって温度差はあるものの、世代を超えてひとつになり地域行事等に取り組むことが、これからさらに増えていくといいな、と感じました。



北部地区（13・14区） 「改正道路交通法について」

今年4月施行の「改正道路交通法」について、改正内容や背景を踏まえ、交通安全に対する再認識の必要性などについて飛騨警察署の喜多村交通課長にお越しいただき、講演をしていただきました。自転車乗車時のヘルメット着用は義務化されたが、なぜ義務化されたのか等について実際の事故事例を参考にしながらわかりやすく説明していただきました。飛騨市も例外ではなく、悲惨な事故による被害が後を絶たない現状に触れ、今一度交通安全の大切さ、また子どもたちに対する指導には大人が見本を見せることが大切であること等についてお話しいただきました。

五ヶ村地区（寺地・笹ヶ洞・黒内・信包・谷区） 「子どもの自己肯定感を高める」

わが子と一緒にいる時間が多くなる夏休みの生活に向けてどのように子どもと向き合うことが大切なのかについて岐阜県飛騨県事務所振興防災課 家庭教育推進専門職の水口悟氏を迎えて講演を行いました。講演では、言葉をポジティブに言い換えることで子どもや保護者の自己肯定感を高める手法「リフレーミング」について学び、参加者いただいた皆さんに家庭での子どもとの向き合い方を改めて振り返っていただきました。子どもに対する「言葉かけ」の部分はあまり気にすることが少ない参加者が多く、この機会に振り返ることが出来て良かった、夫にも今日学んだことを伝えたい、といった感想が寄せられました。講演で実際に紹介された内容を掲載しますので、みなさんもリフレーミングに取り組んでみましょう。

次の言葉を言い換えてみましょう!

(正解はありません)

例) カツとしやすい → 情熱的

おとなしい → 穏やかな

1 心配性 →

2 騒がしい →

3 反抗的 →

4 臆病 →

5 落ち着きがない →



大村地区（上野・花もも・中野・下野区）ほか 「子どもとスマホの付き合い方」

昨年に引き続き、多くの地区でスマートフォンの危険性や付き合い方についての講演を行いました。講師には飛騨警察署の伊藤生活安全課長をお迎えしました。SNSによる動画の拡散に起因した事件や誹謗中傷といった、青少年も巻き込まれかねない事案が後を絶たない現状について学びました。保護者からは、大人がスマホについての知識を得ることや、親子間での使用ルールを決めること、規範となるスマホの使い方を大人が示すことが大切、といった感想が寄せられました。



講師を務めていただいた方々からメッセージをいただきました

今年の祭りは地域の中高生に沢山支えてもらいました。またそのおかげで奏楽部も一層まとまりができ、無事に祭りを行うことができました。その感謝を親御さんをはじめ地域の皆さんにお伝えできたこと有り難く思っています。人が減る中で課題はありますが、これからも多世代楽しく関わりたくさんながら取り組めたらと思います!
(向町奏楽部長 重澤頼正さん)



今年度の講演では、交通事故の現状や交通事故当事者の声をお伝えし、交通安全の大切さ、それを達成していくには何が必要かを今一度考える時間をいただきました。皆様の真摯な傾聴姿勢を拝見し、必ずや安心・安全な地域社会が実現できると確信しております。交通安全は結果が見えない難しさがありますが、皆様の小さな行動一つ一つが必ず交通安全に繋がります。これからも共に交通事故ゼロを目指して未来ある青少年を育てていきましょう。
(飛騨警察署交通課長 喜多村純平さん)

仕事中心となりがちなか生活の中で、わが子育てを見つめる時間をつくることは大切です。わが子の成長は、親としての自分自身の成長そのもの・・・こんなふうに考えられたら、わが子を見つめる眼差しも和らぎ、一緒にいる時間も楽しくなるかもしれません。わが子のおかげでどんなふうに成長させてもらっているのかを描いてみましょう。きっと、たくさんあるのではないのでしょうか。
(岐阜県飛騨県事務所家庭教育推進専門職 水口悟さん)

久しぶりに地区ふれあい集会で講演をさせていただき、コロナ禍ではなかなかお会いできなかった皆さんにお会いし、細々と続けてきた減塩の事をお伝え出来て嬉しかったです。健康は、普段の生活では忘れがちですが、たまに思い出してもらって、自分の体を労わっていただき、人生100年時代を楽しんでいただけたらと思います。
(古川町保健センター長 小洞尚子さん)



日頃は警察の活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。この度は各地区集会にお招きいただき、特にSNSの危険性についてお話させていただきました。スマートフォンの普及につれて、SNSを通じた被害少年の数は右肩上がりであり、取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

今回具体的事例を交えてお話させていただきましたが、もはや都市部だけの問題ではなく、どこであっても子供たちの安易な行動、考えが重大な結果を招くことが理解いただけたかと思えます。被害少年のうち大半がフィルタリング未設定との報告もあり、保護者の皆様がいかに介入し見守っていくかが被害防止上重要であり、今回の講話が家庭でコミュニケーションをとり、家族で話し合う機会の一助となれば幸いです。警察としましては、今後も地域の中高生への教養と共に、積極的な情報発信を行っていく所存ですので、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。
(飛騨警察署刑事課長兼生活安全課長 伊藤泰爾さん)